

第1回富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成20年11月28日 午後7時

場所 富山公民館 2F 講義室

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 委員紹介
5. 設置要綱説明
6. 委員長・副委員長選出
7. 議事
 - (1) 南房総市幼稚園及び小中学校再編計画について
 - (2) 学校再編検討委員会の推進体制について
 - (3) 幼稚園及び小学校の現況について
 - (4) 学校再編に係る協議・検討事項について
 - (5) 第2回検討委員会の日程について
8. 閉会

第1回富山地区学校再編検討委員会 会議録

平成20年11月28日（金）午後7時

富山公民館 2階 講義室

記録者 小磯 英明

満平 恒一

欠席委員 山本委員

江成委員

- (1) 開会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 富山地区学校再編検討委員会委員の委嘱状交付
教育長から各委員に交付
- (4) 富山地区学校再編検討委員会委員紹介
自己紹介
- (5) 富山地区学校再編検討委員会委員設置要綱説明
事務局より条項の要旨説明
承認
- (6) 富山地区学校再編検討委員会委員委員長・副委員長選出
委員長 長谷川清次郎 氏
副委員長 山田和矩 氏

《事務局より報告及び承認を求める事項》

- ① 本日の出席委員は17人です。過半数に達しておりますので、会議は成立することを報告します。
委員承認
- ② 本委員会会議は、公開を原則としておりますので、傍聴申し出がありましたら、会場にて傍聴いただきます。
委員承認
- ③ 広報誌等への委員名簿の掲載が考えられます。所属及び氏名を掲載することの了承

をいただきたい。

委員承認

④ 本委員会議は、議事録を作成します。

委員承認

(7) 議事

これより、議事に入ります。

設置要綱第7条第1項の定めにより、委員長に議長をお願いします。

委員長 「第1号 南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画について」を、議題とします。事務局より説明させます。

事務局 本委員会設置までの趣旨と経緯を説明し、富山地区学校再編検討委員会として、幼稚園及び小学校の再編を推進することに、全委員の賛成をいただきたく諮る。

委員 賛成

委員長 岩井幼稚園と平群幼稚園及び岩井小学校と平群小学校の再編を推進することに、委員皆様の賛成の合意がされました。

当検討委員会として再編に向け、各種検討事項について協議するものとします。

委員長 「第2号 学校再編検討委員会の推進体制について」を、議題とします。事務局より説明させます。

事務局 組織図及び推進イメージの資料に基づき説明し、承認を諮る。

委員 異議なし

委員長 推進体制については、承認されました。

委員長 「第3号 幼稚園・小学校の現状について」を、議題とします。事務局より説明させます。

事務局 岩井幼稚園と平群幼稚園の園児数、岩井小学校と平群小学校の児童数と推移及び学校施設整備状況、児童通学方法等を説明し、現況等の共通理解を諮る。

委員 どちらの学校でも収容できる人数か。

事務局 定数を超える学年が発生することも心配されるが、基本的には6学年6学級である。

委員 耐震改修不要とあるが、どういうことか。

事務局 文部科学省の定める強度を確保しているので、耐震補強工事が不必要という意味である。

委員 断層帯等の確認は。

事務局 調査はしていないが、建物の基準はクリアしているので、大丈夫だと判断している。

委員 耐震補強は建物のみか。

事務局 建物のみである。

委員 木造校舎は基準除外とあるが。

事務局 木造は、文部科学省の強度基準や指示がないため調査対象外としているが、調査が必要となれば調査する。

委員長 質問は以上のようなので、現況等について、認識が得られたものと解します。

委員長 「第4号 学校再編に係る協議・検討事項について」を、議題とします。事務局より説明させます。

事務局 基本的合意事項3項目、(1)再編期日、(2)学校の位置、(3)学校の名称についてと、個別合意事項9項目について、第2回以降の議案になる旨を説明し、委員への同意を諮る。

委員 小中一貫教育について、どうなるのか。

事務局 幼稚園・小学校を主体に再編を検討する。一貫教育については、今後研究する課題であるが、現在は計画していない。小・中の連携という考え方もある。

委員 新聞では、長狭地区の小中一貫校について報道されている。当地区も、今後の会議の中で検討することも可能ではないか。

委員 他地区の学校は、新築されるものもある。富山地区は耐震性が確保されていても、老朽化が進んでいる。小中一貫を含め、それらを検討してはどうか。

事務局 富山地区で小中一貫を考えた場合、将来は中学校でも単学級になり、少人数の解消につながらない。計画の第3期で、中学校再編を考えていきたい。

委員 富山地区では、小中学校の合計で何名程度か。

事務局 現在350人弱です。

委員 中学校再編は、旧町村を超えた組み合わせになり、遠距離通学で生徒が大変だと思われる。

事務局 中学校の再編を検討する場合、検討時点の社会情勢の変化を見極め、どうい
う再編が良いのか考えたい。一貫教育にもメリットはあると思われるが、少人
数化の解消にはつながらないので、現状では、小学校の再編を推進し、教育環
境整備を進めたい。

委員長 質問は以上ですので、推進方法について、承認が得られたものと解し
ます。

委員長 「第5号 第2回検討委員会の日程について」を議題とします。事務局より説
明させます。

事務局 第2回検討委員会を、年明けの1月27日から29日の間で、開催時間は午
後7時でどうか提案します。

委員 次回会議が2ヶ月先で、検討するペースは良いのか。

事務局 それぞれの組織で検討事項について協議いただく時間を考え、また、年末年
始を避けた日程調整の中で1月の下旬を提案させていただきました。

事務局 開催日を1月28日水曜日でよろしいか。

委員 異議なし。

委員長 次回会議について協議の結果、第2回検討委員会は1月28日水曜日午後7
時からの開催で決定します。

予定された議案は以上ですので議事を閉じます。

(8) 閉会

事務局 これをもちまして、第1回富山地区学校再編検討委員会を閉会します。